

街路樹管理計画について

◇1 目的

美しく風格ある街路景観の形成や街路樹の健全な育成に向け、計画的かつ効率的な事業実施を図るため、街路樹健全度診断の結果も踏まえた街路樹管理計画を策定する。

(中央区緑の基本計画(H31.3) p.54)

◇2 おもな現状の維持管理と課題

項目	現状の維持管理	課題
①剪定	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期剪定では、主に樹形を維持しながら台風等の強風に備えた剪定を行っている。 ・冬期剪定では、樹形の骨格づくりを目的とした剪定と、落ち葉対策としての剪定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スズカケやヤナギは毎年剪定しているが、その他の樹種は明確な剪定計画が無い。 ・樹種や路線ごとの理想の樹形の設定が不明確である。
②落ち葉対策	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉の多い路線は歩道清掃を行っている。 ・苦情等があるため、落葉前に剪定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区で行う清掃を超える量の落ち葉が集中する時期がある。 ・樹木の健全な成長を促進するためには、落葉後の剪定が望ましいが、落ち葉を抑制するための剪定をしている。
③街路樹診断	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の街路樹診断マニュアルを参考に、6樹種(スズカケ・ヤナギ・サクラ・エンジュ・ケヤキ・ユリノキ)の診断を年間200本ずつ実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・街路の限られた空間での治療が困難なため、健全度の悪い樹木への対策は更新または支柱設置しか行っていない。 ・街路樹診断の結果を街路樹管理に活かされていない。
④根上り	<ul style="list-style-type: none"> ・経年による樹木の根上りにより、歩道舗装に段差が生じている箇所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根上り部分の根を撤去して舗装を平坦に戻しているが、生きている根を切除するため樹勢の低下が避けられない。
⑤整備工事及び再開発	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道拡幅や電線共同溝の整備など、区道路工事で連携して街路樹の整備工事を行っている。 ・再開発事業と連携して街路樹の整備を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路工事に起因する街路樹の扱いが定まっていない。工事により移植した樹木の美観の低下や枯死などがある。 ・樹木更新に対する区民等の理解が得られないことがある。
⑥台帳	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹台帳は、現状は路線ごとに樹種と位置のみを記載している。2年に1度、職員による街路樹調査を行い更新している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹管理のための履歴(植栽時期や剪定時期、害虫駆除時期、支柱の交換時期、街路樹診断結果等)の情報が無く、計画的な管理につながらない。

➡ 街路樹管理の方向性が明確でないことにより課題が生じている。

◇3 街路樹管理計画の記載内容の検討(案)

- | | |
|-----------------|---|
| 1 「樹木の価値・役割」 | 樹木の生理生態、価値や役割を整理 |
| 2 「樹木に関する基本的事項」 | 樹木を管理するうえで目指す姿を掲示 |
| 3 「維持管理」 | 日常的な管理手法(剪定や害虫駆除)、管理体制 |
| 4 「本区特有の課題と方針」 | 区道路工事や再開発事業に伴う樹木の移植や更新等の方向性、
区民や事業者等の関係者の理解を促進 |

◇4 今後のスケジュール

- ・令和4年度：現状の調査、課題の洗い出し、街路樹管理計画の方向性の検討
- ・令和5～6年度：街路樹管理計画策定委託(予定)
- ・令和6年度以降：計画運用